

令和4年度シラバス

教科	科目	単位数	履修学年・クラス
保健体育	保健	1	1-1~1-A

1. 学習の到達目標

- ・生涯にわたっての健康づくりという、さまざまな観点から、自分自身で健康的な生活習慣を作りあげる事を重視し、将来の生活においても十分に活用できるようにする。
- ・保健の授業を通じて生徒の人権感覚を高められるようにつとめる。

2. 学習の計画

	学 習 内 容	学 習 の ね ら い
1 学 期	1. 現代社会と健康 (1) 健康の考え方と成り立ち (2) 私たちの健康のすがた (3) 生活習慣病とその予防 (4) がんの原因と予防 (5) がんの治療と回復 期末考査	健康、安全に関する知的理解が中心となるが、それを実践化させる能力や態度を養う。
2 学 期	(6) 運動と健康 (7) 食事と健康 (8) 休養・睡眠と健康 (9) 喫煙と健康 (10) 飲酒と健康 (11) 薬物乱用と健康 期末考査	自分で目標を立て、その実現に向けて努力することが自分を高めることになり、その過程の中で心を強く、豊かに健康的なものにしていく。
3 学 期	(12) 精神疾患の特徴 (13) 精神疾患からの回復 (14) 現代の感染症 (15) 感染症の予防 学年末考査	自己の心身の健康、安全、家庭、職場、地域の生活の健康安全、国民の健康知識と安全の確保、生活の実践に寄与する能力と態度を育成する。生徒の基礎知識と授業の理解度を深める。

3. 評価方法・評価の観点

評価方法	考査による評価、提出物等授業態度による。
------	----------------------

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価の内容	健康における事象や社会の情報などについて、健康に関わる原則や概念を基に整理したり、個人及び社会生活と関連付けたりして、自他や社会の課題を発見している。	個人生活や社会生活における健康・安全について科学的に考え、正しく判断している。健康に対する課題の解決方法などを話し合ったり、ノートに記述したりして、筋道を立てている。	現代社会と健康、環境と健康、生涯を通じる健康、集団の健康に関する事項を理解し、健康の増進を図る知識を身につけ、主体的に取り組もうとしている。

4. 使用教科書・副教材

使用教科書	現代高等保健体育 (大修館)
副教材	現代高等保健体育 ノート